

# 横浜市議員 **かじむら 充** 市政レポート

平成30(2018年) 5月 第32号 討議資料

## プロフィール(現在の役職)

- 市会 横浜市議員 5期、神奈川県内広域水道企業団議会議員  
政策・総務・財政委員会、郊外部再生・活性化特別委員会
- 自民党 自民党横浜市支部連合会 幹事長、自民党泉区連合支部 支部長
- その他 学童野球北部球友会 会長、横浜市ボウリング協会 会長  
親善交流ジュニアリーグ野球連盟 会長、横浜市早朝野球連盟 副会長  
全日本不動産協会 横浜支部 顧問、横浜市管工事協同組合 顧問、  
神奈川県宅地建物取引業協会 横浜西部支部 顧問、  
(一社)横浜市地質調査業協会 顧問、(一社)神奈川県測量設計業協会 顧問



発行元：自民党泉区第五支部

## 平成30年度横浜市予算市会について

### 『自民党横浜市連 幹事長として予算関連質疑』

#### ◆新たな中期計画の策定について◆

**Q** 全世代型の持続可能な社会を構築していく上で、人々の生活の場である住宅地の活力の維持・向上が欠かせません。新たな中期計画では、将来の活力ある横浜を実現していくためにも、特に若い世代に選ばれる魅力あるまちづくりを進めるべきだと考えますが、いかがですか？

**A** 子育て、教育、福祉などのニーズにしっかりと応えていくことを基本とし、駅周辺では、地域の生活や経済を支える拠点としての魅力を高めていきます。また、住宅地では、自然環境を生かしながら、団地再生等の取組を推進します。さらに、米軍施設跡地などでの戦略的な土地利用により、新たな雇用や魅力ある住環境を創出し、若い世代に選ばれるまちづくりを進めていきます。

#### ◆これからの都市戦略について◆

**Q** 横浜の持続的な成長のためには人を呼び込む政策を進めていくことが不可欠ですが、建築や開発に関する様々な規制がその障害となっているのではないかと考えます。都市計画法の改正により、都市づくりを進める上での上位計画である「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(整開保)等の決定権限が県から移譲されました。この機会を据え、規制緩和政策をはじめとした取組を進め、今後の土地利用誘導においては、戦略性を持って積極的に取り組む必要があると考えますが、いかがですか？

**A** 現在改定中の整開保では、市街化調整区域となっている鉄道やインターチェンジ周辺、米軍施設跡地において、緑や農の保全などとのバランスをとりながら都市的な土地利用の誘導を図ります。これにより、市の独自性を発揮、地区のポテンシャルを最大限に活かして、持続的な都市の成長・発展につながる土地利用の誘導を積極的に進めます。

## 梶村充事務所

〒245-0013 横浜市泉区中田東 3-19-5  
TEL 045-806-1051 FAX 045-806-1053

横浜市議員 **かじむら 充** 検索



日々更新しています！

ご意見をお寄せください → [www.m-kajimura.com](http://www.m-kajimura.com)



第1回定例会 本会議 予算関連質疑  
平成30年2月27日

裏へつづく

## ◆現市庁舎街区の活用◆

Q

横浜スタジアムの改修では、6,000席の増席が予定され、横浜文化体育館の再整備においてはアリーナが整備され、また、横浜武道館も建設されます。この流れに乗りプロスポーツのチームと積極的な連携をしていくべきだと考えます。そこで、スポーツという観点を、現市庁舎街区の活用や、関内・関外地区のまちづくりに積極的に取り入れていくことが必要と考えますが、いかがですか？

A

関内・関外地区においては、これまでの歴史、文化・芸術に加え、スポーツ・健康という視点も重要であると考えます。横浜スタジアムや横浜文化体育館と、現市庁舎街区などの拠点を十分に連携させ、相乗効果を生み出すことにより、地区の活性化につなげていきたいと考えます。

## ◆スポーツによる街の活性化◆

Q

横浜には4つのプロスポーツチームがあり、試合日には市内外から大勢の観戦客で大いににぎわっています。今後、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピック2020では、多くの集客が予想できます。「新たな中期計画の基本的方向」においても、「スポーツの力により新たな価値・産業・にぎわいを創出します」との記載があり、人々が集い、活気あふれるまちを目指すために、スポーツの力をもっと活用すべきと考えますが、いかがですか？

A

今後、プロスポーツとの連携や大規模スポーツイベントの開催を誘致して集客を促進するとともに、試合会場周辺エリアも含めて一体化にとらえ、観光や食などの融合による新たな価値や賑わいの創出など、スポーツを街の活性化につなげていくための取組を民間と一緒に進めていきます。

# TOPICS

梶村<sup>みつる</sup> 充の提案による平成30年度横浜市予算の取り組み

- 無電柱化事業の予算は、昨年度の56.5%増の7億5587万円を計上。  
(今後10年程度をかけて、環状2号線などの3路線の無電柱化)
- 横浜市の所有する250ヶ所ある雨水調整池の上部利用。  
(雨水調整池の上部に民間事業者を公募により選定し商業施設など建設します)
- 市長選挙の公約である毎年600床建設する特別養護老人ホームについて。  
(これまで公募する対象地域から外されていた、泉区・旭区・緑区でも、サテライト型特別養護老人ホーム整備を認めます)
- 2019年ラグビーワールドカップで、民間事業者によるファンゾーン設置について。  
(横浜・みなとみらい地区などの都心臨海部に、ファンゾーンの設置をし、試合会場と同様に市民に興奮や感動を共有できる場を作ります)

## 最近の活動



第1回少年野球梶村杯親善野球大会  
会長として優勝旗授与  
平成29年12月9日



自民党横浜市連 新年賀詞交歓会  
幹事長として挨拶  
平成30年1月12日 ローズホテル